



岐阜労働局発表
平成29年6月20日

担当	岐阜労働局労働基準部健康安全課 健康安全課長 澤田 幹男 健康安全係長 祖父江 誠 (電話 058 - 245 - 8103)
----	--

岐阜労働局長がビル建設工事現場をパトロールします

- 全国安全週間における安全点検を実施 -

1 岐阜労働局長（稲原俊浩）は、第90回全国安全週間（平成29年7月1日から7月7日まで）における県下の各事業場での労働災害防止活動の積極的な取組の推進を促すために、安全パトロールを実施します（別紙参照）。岐阜労働局のトップが建設現場の安全パトロールを実施することにより、全国安全週間を機に、各事業場における安全衛生管理活動の活性化に向けた意識の高揚をアピールしたいので、ぜひ取材いただきお力添えをお願いいたします。

2 全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界における自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的として、一度も中断することなく全国各地で実施され、今年で90回目を迎えます。

3 岐阜県内における平成28年の休業4日以上死傷災害（以下「死傷災害」という。）は1,982人と前年に比べ41人（2.1%）増加し、死亡災害は18人と前年に比べ7人（28%）の減少となったものの、過去最小となった平成26年の14人には及びませんでした。そして、平成29年は5月末集計で死傷災害は657人と前年同期に比べ26人（4.1%）の増加、死亡災害は5月末集計で10人と前年同期に比べ約1.5倍の発生となっています。また、建設業における死傷災害は、5月末集計で78人と前年同期に比べ12人（18.2%）増加しています。

労働災害の減少を図るためには、安全管理体制の整備、施設の安全化、従業員への安全教育などの安全管理の基本を徹底し、労使が一体となり、事業場の自主的な安全管理活動を推進するとともに、リスクアセスメント等の積極的な取組によって職場の潜在的な危険性や有害性等を排除することが重要です。

以上